

胃癌手術における栄養・炎症因子と術後成績の関係に関する研究

■ 研究の対象となる方

2012年1月～2019年3月に当院で胃癌に対して手術を受けられた方

■ 目的・方法

高齢の患者さんに対する胃癌手術が増えていますが、術後の成績は若年者と比較して不良です。特に、術後の肺炎や食事量の減少による体力低下が予後不良の原因と考えられています。したがって術前の栄養状態を評価することが重要になりますが、高齢の患者さんの手術適応を判断するうえで、予後を予測する明確なバイオマーカーはありません。

今回、術前の血液データを利用し、得られた栄養・炎症マーカーが胃癌術後成績の予測因子となりうるか、また、長期予後と関連するか検討します。

■ 実施期間

2020年10月21日～2022年3月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、併存疾患、既往歴、喫煙歴、ASA-PS、原疾患、術前化学療法の有無、抗菌薬使用状況、手術情報、周術期観察項目、在院日数、転帰 等
診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 外科 原田 和人（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	--

以上